

コード	201050303
記入日	H21.6.8

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石英穗
担当者	前田光昭

## 事務事業事後評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	浦浜地区污水管修繕事業	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20105	基本事業名称	適正なし尿処理の推進	目コード	6
事務事業コード	2010503	事務事業名称	下水処理施設管理費	細目コード	
関連計画	一般廃棄物処理基本計画(生活排水処理)		法令・条例規則等	新上五島町浦浜地域し尿処理施設条例	

**計画(PLAN)** ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象: 誰、何を対象にしているのか		対象指標: 対象の大きさを表す指標				
(対象1)	世帯数	(対象指標1)	170世帯			
(対象2)	浦浜地区污水管	(対象指標2)	污水管総延長=1,811m			
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***	***	***	污水管修繕箇所数	***
		① 污水管修繕工事	3箇所	100%	／計画箇所数	平成20年度
浦浜地域の污水管修繕工事 3箇所		(達成率分析) 予定どおり污水管の修繕を実施できた。				
		****	****	*****	*****	*****
		****	****	*****	*****	*****
		②	(達成率分析) *****			
目的: 何をしたいのか		成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***	***	***	実施進捗率／計画	***
		① 進捗率	100%	100%	進捗率	平成20年度
浦浜地域の污水管内をTVカメラにて調査した結果に基づき、破損箇所を修繕し、海水の流入を防止することにより、浦浜地区コミュニティ・プラント施設での生活排水処理について、安定した水質での処理を行うため。		(達成率分析) 予定どおり実施できた。				
		***	***	***	***	***
		***	***	***	***	***
		②	(達成率分析) ***			

**実施(DO)** ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 箇所	3	3		3	3
	②					
成果指標	① %	100	100		100	100
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	3,456	2,793		3,456	2,793
直接事業費 A	千円	1,356	693		1,356	693
人件費 B	千円	2,100	2,100		2,100	2,100
内訳	従事職員数	人	0.3	0.3	0.3	0.3
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	1,356	693		1,356
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	2,100	2,100		2,100	2,100

**評価(CHECK)** ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	本町の海域及び河川等の水質保全を図るためにも必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	一般廃棄物の処理については、地方自治体の責務である。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	汚水等の排出者は利用者であり、生活排水を処理するのが施設の目的である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	破損箇所を特定することができ、修繕を実施し、海水の汚水管への流入を止めることができた。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	計画どおりで十分成果は得られた。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	事業を実施しなかった場合、汚水管の破損部分から海水が流入することにより、浦浜地区コミュニティプラント施設での生活排水処理について、安定した水質での処理ができなくなり、処理に支障を来す。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	修繕箇所数については、必要最低限の箇所になっているので、削減できない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	汚水管の修繕計画等の作成、発注現場管理等に要する最低限の人員であり、削減できない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	受益者負担はない。

**改善(ACTION)**

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点	
	浦浜地区内の汚水管については、コミュニティプラントへの流入水の水質により、海水の流入の恐れがあった場合は、今回と同様の調査及び修繕が必要となってくるため、抜本的な改良(汚水管の材質変更)が必要ではないかと思われる。	
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	
	なし	
2次評価	コミュニティプラントの流入水の水質には注視しつつ監視を続け、施設の維持・管理に支障が内容努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。